

—町総合防災訓練・全町一斉安否確認訓練を控えて—

あらためて『防災』について 話し合ってみましょう!



▲写真提供 財団法人消防科学総合センター

耐震補強工事についてお早めにご検討ください。

そして、身の回り、特に台所や居間に置いてある冷蔵庫や食器棚などの重量物の下敷きになった場合には命の危険を伴います。東海地震の際に予測される大きな横揺れが発生した場合、固定されていないすべての物が床の上を高速で移動するはずで、身を隠したはずの机やテーブルが自分の頭上から移動して無くなっていたら…。まさに『想定外』の事態ですよ、ね。この『想定外』をなくすことが、生存へのもうひとつの近道だと言われています。

そもそも「防災」とは、どういうことなのでしょう。①非常持出袋を用意する、②水・食料を備蓄しておく、③地震の時は机の下に隠れる。このようなことが防災なのでしょうか。

阪神・淡路大震災、東日本大震災という甚大な災害を教訓とするならば、そろそろ考え直さなければならぬ時期が来ていると言われています。

これからの防災は、まず①倒壊しない家屋に住む、②津波や土石流などの危険の及ばない場所に住む、ことだと言われています。命を守り生き残らなければ、非常持出袋も水や食料も必要がないからです。特に家屋では、昭和56年の建築基準法改正前の木造建築でしたら、耐震診断、そして耐震補強工事の施工をお勧めします。250万円程(参考)の資金が必要だと言われてはいますが、実際に建物が倒壊した場合は2000万円以上の費用が必要になるだろうとの専門家の話しを聞いたことがあります。

各種補助金制度も設けられているので、各ご家庭において、耐震補強工事についてお早めにご検討ください。



町総合防災訓練・全町一斉安否確認訓練

日時 8月28日(日) 午前8時より(予定)

町では、大規模な災害時にはまず「安否確認場所」での「安否確認」をお願いしています。今年も「安否確認」に重点を置き、町総合防災訓練を行います。ご家族全員でご参加ください。

※訓練の方法は自主防災会により異なります。詳しくは役員にお尋ねください。

※集落に未加入の方の安否確認訓練については、後日ハガキ等でお知らせします。



ご存知ですか? 携帯電話の「災害用伝言板」

大規模な災害時には、携帯電話の通話が一気に集中して、つながりにくくなります。そこで“無事を知らせたい”“安否を確認したい”という時に役立つのが「災害用伝言板」サービスです。被災の際は携帯電話から登録したメッセージを、家族や親族・友人に伝えることができます。

すべての携帯電話会社から利用可能ですが、詳しくはお手持ちの携帯電話会社にお問い合わせください。

☎ 総務課 防災危機管理係 ☎62-9326